

2019年度「休眠預金等活用法」に基づく資金分配団体公募  
草の根活動支援事業 全国ブロック 採択事業

事業名 主題	障害児等の体験格差解消事業	
事業名 副題	水辺の自然体験を通じて障害児や児童養護施設等の子供たちの人間形成を図る	
団体名	公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団	
代表者名	会長	前田康吉
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動; ① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援; ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援	
事業の概要	<p>●課題</p> <p>①子供たちの協調性や連帯感、探究心や克己心等、人間形成に高い効果を発揮する自然体験活動に、個人の障害や家庭・経済的事情により参加できない子供が多くいる。</p> <p>②特に海や川など水辺での自然体験は、非常に楽しい反面、陸上と違い習熟した指導員等の下でなければ危険であるため、より参加しづらい状況である。</p> <p>●活動内容</p> <p>①全国で障害児や児童養護施設等の子供たちを対象に、海洋性レクリエーション体験活動を実施している団体と連携し、そのような状況下の子供たちの海洋体験活動を推進する。</p>	
事業期間	3年	
助成額（円）	助成金	41,000,000
	PO関連経費	24,845,000
	評価関連経費	3,870,000
	<b>合計</b>	<b>69,715,000</b>

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の子どもが直面している課題と、その解決法、効果について、課題が絞り込めているからこそ見えてくるものがあり、課題設定・展開とも適切に構築されている。</li> <li>・自然体験活動の意義や、体験格差の解消は重要であり、家族・兄弟支援と共に充実が望まれる分野である。これらに焦点を当てている点は評価できる。</li> <li>・事業自立化に資する仕組み作りという点において、助成終了後の継続性を検討いただきたい。</li> <li>・既存事業の延長線上ではなく、社会の新しい価値の創造や仕組みづくり、多様なステークホルダーとの新しい協働といった視点も留意いただきたい。</li> <li>・海洋レクリエーションを中心にすることで、体験の幅が絞られるとも感じる。海洋レクリエーションだからこそ生み出せるソーシャルインパクトを示していただきたい。</li> </ul>
--------	---

※審査コメントは、審査時点（2019年9月末）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2019年11月下旬）のものです。